隔日刊
食品新聞
発行所　食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区西天満5－10－17
郵便番号　530－0047
電話　06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号　104－0042
電話　03（3552）3756－4031
名古屋市中区丸の内2－10－11
リプラ丸の内6　305号
郵便番号　460－0002
電話　052（221）5391㈹
（支　局）広島・福岡
© 食品新聞社 2019
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料　半年33,346円

天候不順がビール類直撃

気温回復で主力品は上昇

ビール類最盛期の6～8月は、7月の天候不順の影響を大きく受け、出荷量は前年同期比4％弱減で推移したとみられる。ただ8月は前半に暑さが戻ったこともあり出荷は回復した。

PBを除く上期（1～6月）の出荷量は約3％減。7月次第で減少幅を縮められるといった期待も聞かれたが、予想外の天候不順や低気温に見舞われ、単月で1割ほど数字を落とした。ビールは11％減。発泡酒も約14％減、注目が集まる新ジャンルは約6％減。

8月に入ると猛暑が訪れ売上げは回復基調になった。盆の台風以降は動きが鈍ったが、増税前仮需をにらんだ動きも見られたといい、単月のビール類出荷量は約3％増。ビールは約3％減、発泡酒も約2％減だが、新ジャンルが14％近く増加。最大勢力「スーパードライ」は8月単月で約3％減とやや厳しい情勢だが、「同ザ・クール」の取扱店は3千400店超に到達。また五輪1年前を記念して7月に投入した「アサヒ ゴールドラベル」は8月末までに目標の25万箱をクリアするなど新提案に対する反応は良い。今年投入のアサヒ「極上〈キレ味〉」も好調が続き、苦しい局面が続いた「クリアアサヒ」も単月・単体では4％増。

8月のキリン「一番搾り」は2％増、「本麒麟」は62％増。サントリー「ザ・プレミアム・モルツ」も3％増、「金麦」はブランド計で35％増。サッポロ「黒ラベル」は昨年の限定品の反動で5％減だが、「同」単体の缶は引き続き好調で9％増。「麦とホップ」も刷新に合わせて好調に転じ単体で9％増。

増税脱みの動きが含まれるとはいえ暑さが戻れば、各社が集中する商品は良い方向に転じており、ある関係者は「〝選択と集中〟の重要性を感じた夏」と話す。

消費増税については、ポンサーである「ハイネケン」以外でもビールへの好影響はあるとみる関係者も多い。来年には五輪、ビール減税が控えており、「来年に向けての準備、訴求ができるかどうかが未来の市場を決めるルの未来は暗くない」（同）といい、各社ともに注力する構えだ。

ファミマ

他業態対抗へ中食に磨き
増税にらみ低価格品も拡充

ファミリーマートは下期の商品政策に「消費増税対策」「中食強化」「食トレンド対応」の3機軸を掲げて臨む。

11日の下期商品説明会で会見した佐藤英成常務執行役員＝写真㊧＝によれば、上期は強化カテゴリーの惣菜、おにぎり、弁当が牽引して中食の日販は毎月前年を上回った。また新型コーヒー什器の導入や冷凍什器の拡大、チルド弁当の品揃え拡充も日販拡大に寄与したという。

下期は増税対策はもとより、他業態の動向も踏まえた取り組みを強化する。「スーパーはここにきて小商圏を狙ってきており、グローサラントやイートインの拡充で「見せる・食べる」を提供。また来たくなる業態を作ろうとしている。またDgSは食品を強化してワンストップ化を推進、外食は日常少し特別な体験を提供することで非日常から日常に寄ってきた」（佐藤氏）として、地域のインフラであるCVSとして品質価値や健康価値の訴求にシフトすることで対抗していく考えを示した。

中食は「健康・満腹・満足」を重視して開発。おにぎりでは具材を従来の2倍のボリュームに増量した「熟成さば」を目玉に、定番とバラエティの両軸で高付加価値系の商品を投入。またパウチ惣菜「お母さん食堂」は、ボリュームゾーンである198円商品の品揃えを厚くして購入頻度アップを狙う。

健康訴求として、大豆ミートを使った米飯類や玄米・雑穀のおにぎりを発売するとともに、減塩商品を強化。食塩を天然調味料に置き換えたり減塩しょうゆを活用するなどして、塩分量10％削減に取り組む。

また近年のトレンド食材であるチーズを取り入れた商品を、惣菜やサラダ、デザート、チルド弁当、調理パンなどで横断展開。ホットドリンクも刷新し、新型コーヒーマシンの特徴である「ふわふわミルク」を最大限に生かしたカフェラテやココアを投入するほか、新スペシャルティコーヒーとして日本人に最も好まれる「モカブレンド」を新発売する。

10月の増税後は軽減対象外の酒・日用品が実質2％値上がりとなるが、「『コンビニは高い』という意識が強く、単純にNB商品の値下げでは効果が薄い」（佐藤氏）ことから、NBに負けない品質の商品をPBで品揃え強化していく考え。

酒類では「クリアモルト」（350㎖、税込125円）、「スーパーチューハイ」（同）などファミマ限定の低価格商品を発売。日用品もPB「ファミリーマートコレクション」を中心に売れ筋の低・中価格帯を拡充し、全体のプライスゾーンを維持することで割高感を抑える。

家庭用砂糖 量から質へ続く

三井製糖 小容量タイプ2品追加

グラと中ザラもスタンド

三井製糖は昨春に発売した家庭用のスタンディングタイプ「上白糖400g」「三温糖400g」に続き、「グラニュ糖400g」「中ザラ糖400g」＝写真＝を9月から発売した。砂糖消費の減少が続く中で、お客様の利便性を高めることで、減少幅を少しでも抑えたい考え。

一昨年秋から三井製糖、日新製糖の両社は少量タイプのテスト販売を開始。昨春には三井製糖がスタンディングタイプ、日新製糖はボックスタイプで本格販売を開始した。内容量400g。

市場の中心商品は1kgだが、500gサイズは単なる半分量の割安商品から抜けきれていない。しかも販売構成比もそれほど高くない。それならば400gにしてチャック付きで使い勝手を良くして、価格は少し高くなるが商品価値は支持されるはずと展開を続けてきた。日新製糖のボックスタイプもコンセプトは基本同じ。

つまり500gから価格が少し高い400gへの差し替えを含めた販売が成功するかどうかだ。スーパー側も実績が落ちては良い顔はしないが、販売量、金額ベースで合格点を出したようで三井製糖は次々と導入店舗を増やしていた。

今回、新たに「グラニュ糖」「中ザラ糖」（オープン価格）を発売し、多様な料理シーンでも小容量スタンディングタイプを活用してもらう。HPでは料理研究家コウケンテツ氏による「上白糖400g」「三温糖400g」のレシピ動画も公開していく。

MV 西日本　ポプラ

広島の小売2社
業績不振で社長交代

広島市に本社を置く小売業2社の社長が業績不振を理由に辞任した。

スーパーのマックスバリュ西日本は加渠章男社長が10日辞任し、子会社のマルナカの平尾健一氏が後任に就いた。同社は18年2月期に創業以来初の減収に転じ、前期も減収減益。今期も売上不振が続き、第1四半期は約7億円の営業損失を計上していた。

平尾氏は1962年1月生まれ。84年ジャスコ（現イオン）入社。マックスバリュ近畿四国事業部長、イオンタイランド社長などを経て16年にマルナカ社長に就任。平尾氏はマルナカ、山陽マルナカの会長にも就く。

コンビニのポプラは10日、目黒真司社長が業績不振と体調不良を理由に辞任。前社長で義父の目黒俊治会長が社長を兼務することとなった。同社は前期まで7年連続の減収で、営業損益も3年連続の赤字。

俊治氏は76年にポプラを創業し、08年に娘婿の真司氏に社長職を譲った。その後、同社は14年にローソンと資本業務提携を締結。昨今は官公庁や病院など特殊立地への出店に注力していたが、業績は低迷を続けていた。

逆光線

戦後の食品3大発明といえば、インスタントラーメン、レトルトカレー、カニカマ。そのカニカマが誕生50年を前に、筋肉増強剤として脚光を浴びている▼カニカマは白身魚のすり身に卵白を加えて練り、繊維状にしたかまぼこ。主原料のスケトウダラはたんぱく質を豊富に含み、高たんぱく食材として知られる。また、「インスタントラーメン」「レトルトカレー」「カニカマ」。そのネーミングに共通するのは、世界的な魚食傾向でより身価格は右肩上がり、この10年間で3割近く高騰。他国に買い負けることもあり「欲しくても手に入らない話題だが、手放しで喜べないのも事実だ。価格上昇の傾向は変わることはなさそうだ。価格を一途となれば、売価を製造工程で加えるでん上げるかすり身の比率を減らすしかない。かまぼこに身を模した大衆食材が、本物のかに身並の価格になる日もそう遠くないかもしれない。

お知らせ
18日付は休刊とさせていただきます。ご了承下さい。
食品新聞社

ローリングストック新提案

即席食品で備え万全に

日清食品

9日、首都圏を直撃、千葉県を中心に甚大な被害をもたらした「2019年台風第15号」は、災害備蓄の重要性を再認識させるものとなったが、日清食品は今月から自然災害などで電気、ガス、水道が使えない万一の状況でも、いつもと同じ温かい即席食品が食べられる防災備蓄セット「カップヌードルローリングストックセット＝写真」をグループオンラインストアで販売開始した。

サブスクリプションサービスを採用することで、一度申し込むと、お好みの商品9食（3日分の備蓄）が3か月ごとに届く仕組み。賞味期限を気にしたり、買い替えたりする手間がなく、防災備蓄食を日常的に消費しながら、常に一定量の食品を備蓄しておくローリングストックが可能。

セットの内容は、カップ麺やカップライスなどの同社即席食品9食と、カセットこんろやカセットボンベ、保存水、フォーク、ソーラー充電式折りたたみライト、軍手1組、計量カップほかをオリジナルBOXに入れて届けるもの。オリジナルBOXは、保管のための箱としてだけでなく、持ち運びリュック、腰かけとしても利用できるなど、災害時の持ち出しも考慮した。

国は1週間程度の食料備蓄を推奨しているが、こうした防災備蓄セットをベースに1週間分の食料をローリングストックすることは災害に対する備えとして個人レベルで求められそうだ。

カメセの 青のり
自然の恵みを美味に育んで、皆様にお届けしたい
青海苔専門問屋 株式会社カメセ水産
東京都上野区池之1-4-8
TEL 03-3631-2824㈹
FAX 03-3631-8062

きょうの業界天気図
機能性素材
はれ
サプリ、加工食品ともに採用増加。原料・製剤の製造管理は厳格化へ。
きょうの主な内容
6～7 機能性素材特集
8 機械・資材版

オリジナルのサプリメントの開発は
プラネットにお任せください。
売れる商品、売れ続ける商品にこだわります。
■どんな健康食品や化粧品を作ったら良いか?
■どうしたら商品化できるのか?
■容器はどうしたら良いか?
■デザインはどうしたら良いか?
貴社のコンセプトに沿ったご提案を致します。
プラネットはサプリメントの企画・開発・製造会社です。
おかげさまで創業29年目を迎えました。
株式会社 プラネット https://www.planet-group.co.jp/
東京都千代田区六番町1-10
TEL:03-3265-7122　e-mail:support@planet-group.co.jp

PHARCOS
一丸ファルコス株式会社　本社 058-320-1030　東京営業所 03-3663-4447　大阪営業所 06-4706-3885